



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年1月30日 東

上場会社名 株式会社大冷 上場取引所
 コード番号 2883 URL <http://www.dai-rei.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 齋藤 修
 問合せ先責任者（役職名） 常務取締役管理統括本部長（氏名） 黒川 岳夫 (TEL) 03(3536)1551
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	21,055	—	1,293	—	1,288	—	899	—
26年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
27年3月期第3四半期	168.33		—					
26年3月期第3四半期	—		—					

当社は平成26年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
27年3月期第3四半期	9,882	—	5,850	—	59.2	
26年3月期	8,295	—	4,048	—	48.8	

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 5,850百万円 26年3月期 4,048百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	100.00	100.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は平成26年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合の平成26年3月期の年間配当金は50円00銭であります。

3. 平成27年3月期の業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,650	1.2	1,668	0.5	1,664	0.9	1,115	24.4	202.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は平成26年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	6,008,300株	26年3月期	5,308,300株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	—	26年3月期	—
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	5,343,936株	26年3月期3Q	—

(注) 当社は平成26年10月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、消費税増税及び円安の影響による物価高から個人消費が低迷し、企業の収益も円安による輸出恩恵と原材料高の両面があり、業種によって明暗が分かれています。

国内食品業界におきましても、食品原料の価格が依然として高い水準にあり販売価格への転嫁が遅れるなど厳しい状況が続いております。また、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動や夏場の天候不順などの影響もみられました。

このような状況のもと当社は、原価の低減を推し進めるとともに極め細やかな販売価格交渉を実施して売上と粗利確保に努めてまいりました。以上の結果、骨なし魚事業におきましては、原価の低減による販売価格の適正効果もあり売上高10,339,007千円、ミート事業におきましては、「楽らく匠味シリーズ」の販売が引き続き好調に推移したことにより売上高1,988,591千円、その他事業におきましては、値上げの浸透もあり売上高8,727,435千円となりました。これにより、当第3四半期累計期間の売上高は、21,055,035千円となりました。

損益面につきましては、原価の低減と運賃等の経費削減に取り組みましたが、株式上場費用の発生などにより、営業利益は1,293,913千円、経常利益は1,288,599千円、四半期純利益は役員退職慰労引当金制度廃止に伴う戻入等により899,569千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期会計期間末の総資産は 1,587,537千円増加し、9,882,828千円となりました。これは主に現金及び預金が増加した一方で、受取手形及び売掛金が1,638,821千円、商品が359,751千円増加したことによるものです。

(負債の部)

負債合計は213,734千円減少し、4,032,813千円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が増加した一方で、長期借入金が増加した一方で、1年内返済予定の長期借入金が増加した一方で、未払法人税等が減少したことによるものです。

(純資産の部)

純資産合計は1,801,272千円増加し、5,850,014千円となりました。これは主に増資を行ったことにより資本金が増加した一方で、資本剰余金が増加した一方で、配当金の支払を行った一方で四半期純利益を増加したことにより利益剰余金が増加したことによるものです。これにより自己資本比率は59.2%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、平成27年3月期においても、安全安心な商品の販売に基づいた安定的かつ持続的な成長の実現に向けた取り組みを行ってまいります。

骨なし魚事業におきましては、仕入先との価格交渉強化による柔軟な販売価格設定や、特許取得をベースとした差別化商品の投入によりシェアの維持拡大に取り組んでまいります。

ミート事業におきましては、売上が好調な「楽らく匠味シリーズ」の更なる販売強化に取り組んでまいります。

その他事業におきましては、エンドユーザー様のニーズを満たす商品へのリニューアル推進に取り組んでまいります。

以上を踏まえ、平成27年3月期の業績予想は、売上高は26,650,000千円（前年同期比1.2%増）、営業利益は1,668,699千円（同0.5%増）、経常利益は1,664,625千円（同0.9%増）、当期純利益は1,115,484千円（同24.4%増）を見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,513,107	901,905
受取手形及び売掛金	4,018,253	5,657,074
商品	1,666,584	2,026,336
その他	98,357	309,041
貸倒引当金	△4,322	△3,394
流動資産合計	7,291,980	8,890,963
固定資産		
有形固定資産	687,762	684,311
無形固定資産	97,146	70,488
投資その他の資産		
その他	225,989	244,740
貸倒引当金	△7,589	△7,675
投資その他の資産合計	218,400	237,064
固定資産合計	1,003,309	991,864
資産合計	8,295,290	9,882,828
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,284,694	2,896,189
1年内返済予定の長期借入金	200,400	—
未払法人税等	351,698	200,841
賞与引当金	27,858	13,937
その他	457,849	550,818
流動負債合計	3,322,501	3,661,787
固定負債		
長期借入金	499,000	—
退職給付引当金	206,141	202,742
役員退職慰労引当金	88,054	—
その他	130,850	168,284
固定負債合計	924,047	371,026
負債合計	4,246,548	4,032,813
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,327,075	1,909,825
資本剰余金	104,201	686,951
利益剰余金	2,615,294	3,249,448
株主資本合計	4,046,571	5,846,225
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,170	3,788
評価・換算差額等合計	2,170	3,788
純資産合計	4,048,741	5,850,014
負債純資産合計	8,295,290	9,882,828

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位:千円)

		当第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高		21,055,035
売上原価		17,363,920
売上総利益		3,691,114
販売費及び一般管理費		2,397,201
営業利益		1,293,913
営業外収益		
受取賃貸料		6,732
為替差益		2,609
その他		3,442
営業外収益合計		12,784
営業外費用		
支払利息		3,104
株式交付費		7,801
賃貸収入原価		2,260
その他		4,932
営業外費用合計		18,098
経常利益		1,288,599
特別利益		
役員退職慰労引当金戻入額		88,054
固定資産売却益		840
特別利益合計		88,895
税引前四半期純利益		1,377,494
法人税等		477,925
四半期純利益		899,569

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、業務用冷凍食品卸売業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。